

# 市職労退職者の会

たより 65号  
2023年10月18日

で8時45分に福岡市役所玄関前を出発します。高速道路に乗って日田市豆田町に10時過ぎに到着予定。豆田町では日田市の祇園山鉾会館(有料)を見学し、源次郎左衛門(味噌・醤油、ラムネ工場)

## 秋のバスハイク

### 紅葉に輝く日田を訪ねて

11月18日(土) 8時40分集合

市職労退職者の会恒例の秋のバスハイク、今回は大分県日田市を訪ねます。

#### 当日のスケジュール

観光バスは朝8時30分に配車されますの

で工場見学して、その後、12時から日田サツポロビール(森のビール園)で昼食に入ります。食事は焼肉和牛膳を予定しています。昼食後13時半から天領の里・元気の駅で地元食材などお買い物を楽しんで、クンチュウ酒造(試飲)と日本丸館(歴史的建造物・有料)を見学し、豆田町の自由散策とします。帰りは福岡市役所前に17時40分の到着予定です。(尚、入場料は個人負担です)

#### 記

▼山登り同好会(報告)▲  
猛暑の夏が漸く緩んだ9月30日、同好会では4か月振りに参加者7名で二日市にある天拝山に登りました。久しぶりの登山で足腰が弱ってないかと心配しながらの登山でしたが、休憩しながらゆっくりと登っていきました。

前日までの曇り空がすっきりと晴れ渡って気持ちの良い登山日和でした。天拝山は市民が普段にハイキングとして登る山で、いつもは山頂まで整備された道路を気軽に歩いて登れる山ですが、今回はこのハイキング道に並行してある登山道を歩き、起伏も多く、傾斜道が山頂まで続いて約1時間かけてゆっくり登りました。

天拝山の山頂からは二日市の市街地や遠く宝満山などの山並みを望むことが出来ました。

登山後のお楽しみは、駅近くの定食屋さんに入ってビールで乾杯、昼食を食べながら10月以降の山登りシーズンに向けて今後の計画などに話が弾みました。



山登り同好会は9月30日(月)に7名の参加で二日市の天拝山に登りました。

日時 11月18日(土)  
8時40分玄関前集合  
場所 日田市豆田町  
会費 4000円  
(昼食・バス代)  
申込 市職労書記局  
電話 711-4940  
Fax 714-4013  
参加が20名以下の場合  
は中止とします。早めに申し込みをお願いします。



## 【お知らせ】

山登り同好会の10月以降の予定は次の通りです。尚、日程は天候によって変更することがありますので、必ず連絡先と合わせて申し込みをお願いします。

① 日程 10月26日(木)

岳城山〜若杉楽園

\*前回の若杉山の予定を変更します。

集合 須恵中央駅前(9時半)

博多駅 8時52分発(笹栗行)

長者原で宇美行(9時8分)乗換

昼食 弁当持参 立ち寄り湯あり

② 日程 11月23日(木)

大平山

集合 西鉄朝倉街道駅(9時半)

昼食 弁当持参 立ち寄り湯あり

③ 日程 12月21日(木)

十坊山

集合 JR福吉駅(9時半)

昼食 弁当持参 立ち寄り湯あり

④ 日程 1月20日(土)

立花山

集合 JR福工大前(9時半)

昼食 弁当持参

参加連絡先 090-1346-7117(横多)

(注)雨天の時は中止又は延期して電話かメールで連絡します。参加者は必ず連絡先を知らせてください。

《特別企画》「紅葉の久住登山」は参加の申し込みがありませんでしたので中止とします。

## 退職者の会総会のご案内

福岡市職労退職者の会は来年1月で結成15年目を迎えます。新型コロナウイルスの感染拡大で長らく活動が制限されてきましたが、ようやく従来の活動に復帰できるようになりまして、そこで来年1月に第15回総会を左記のとおり開催します。

### 第15回退職者の会総会の開催

日時 2024年1月13日(土)

11時15分〜15時まで

会場 頤和園(大博多ビル)

参加費 3,500円

申込先 市職労書記局

電話 711 4940

退職者の会では活動制限の影響で規約に基づく2年毎の役員改選が出来ずに来ましたので、来年1月の総会では新役員の選出を行いたいと考えています。つきましては、新役員への立候補や役員推薦について募集を行いますので会員の皆様のご協力をよろしくお願ひします。

### 新役員の立候補・推薦について

立候補・推薦につきましては、自薦他薦を含めて12月末まで随時受け付けますので組合書記局又は退職者の会役員までご連絡をお願いします。

(連絡先) 市職労書記局 (711-4940)

退職者の会事務局 (横多)

090-1346-7117

## 声「北かぜ南かぜ」

憲法9条生かし、平和外交に力の発揮を！

新型コロナウイルスによるパンデミックの脅威がようやく収まったと思ったら、今度はもっと恐ろしい「核戦争の危機」が世界中で叫ばれるようになった。

突然に始まったかのようなロシアのウクライナ侵略戦争だが、その背景にはNATO(北大西洋条約機構)という米国を中心とした西側軍事同盟に対して、ロシアを中核とする旧東側軍事同盟の対立がある。そのうえ21世紀に入って中国の政治・経済・軍事面で急激な台頭によって世界の覇権をめぐる米・中対立も激しくなっている。

そうした国際情勢のもとで岸田内閣は、日米安保条約(日米軍事同盟)の拡大強化を図っており、中国・ロシア・北朝鮮などを仮想敵国として「米国の核の傘」の下に日・米・韓合同軍事演習やNATO諸国との合同軍事演習などを拡大強化しており、ソ連崩壊で一旦は解消したはずの東・西軍事ブロック体制が復活する動きで米・ロ双方が戦術核兵器のための核実験も再開し、「核戦争の危機」が再び現実的な問題となっている。

今こそ「戦争の放棄」を定めた憲法9条を持つ日本の政府として、米国に追従する『大軍拡と戦争準備のための国づくり』ではなく、世界の平和構築に向けた平和外交に力の発揮を強く求める。

\*あなたの声もお寄せください待っています!!